

# 近畿

大阪支

は、コンクリ  
総価契約単価  
0㎡、鉄筋2  
出来高部分払

## 西松JVに ダム建設本體工

西松建設 主要な資材セメント約5  
・キハラコー 万ト、コンクリート骨材  
・長崎組JV 約54万ト。  
工事場所は若狭町熊川  
地係。工期19年5月31日。  
予定期格11.6億835  
坪頂長202  
坪積25万72  
使用する  
加していた。

### 新 聞 五 業 建 設 日 刊

## 25日に入札書

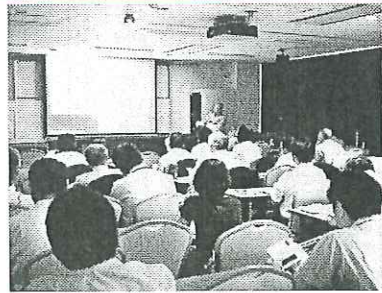
### 山市杭ノ瀬更新住宅設計

10日、杭ノ瀬更新住宅設計  
建築工事設計  
業務委託の制限付き一般  
競争入札を公告した。23  
25日に入札書を受け付  
け、26日に開札する。事  
後審査型で開札後、落札  
候補者から入札参加資格  
確認申請書などを受け付  
ける。

入札参加申請を受け付  
け、同30日に開札する。  
公告内容は次の通り。  
▽件名「公告日①締切日  
参加資格は和歌山市内

## 関西地質調査業協会、津波防災で講演会

関西地質調査業協会(荒木  
繁幸理事長)は11日、大阪市  
北区の天満研修センターで  
「東日本大震災における津波  
被害を教訓として関西の今後  
の津波防災を考える」をテー  
マとする技術講演会を開いた  
。写真。南海トラフ巨大地震  
講演会では冒頭、同協会の  
東原純技術委員長が「8月29  
日に公表された南海トラフ巨  
大地震に関する被害想定で  
は、関西でも大きな被害が見  
込まれており、われわれも津  
波の防災・減災に携わる者  
として引き続き勉強しなければ  
ならない。当協会では津波の  
仕組みや防災・減災対策を分  
かりやすく紹介する冊子を作



へのお心の高まりを受けて開  
催したもので、当日は約10  
0人が参加、これまでの研究  
で得られた津波に関する知見  
や防災・減災の考え方、行政  
の取り組みなどを熱心に聴講  
した。

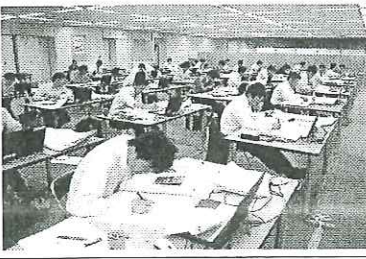
## 高橋関西大教授 GPS波浪計とレーダー併用を



つする  
あいさ 東原委員  
長

り、無償配布しているが、こ  
うした取り組みを通じて社会  
に貢献していきたい」とあい  
さつ。  
続いて行われた講演では、  
関西大学社会安全学部の高橋  
智幸教授が「東日本大震災に  
おける津波被害を教訓として  
関西の今後の津波防災を考え  
て」と題して、被災地の調査  
で得られた成果や南海トラフ  
巨大地震による津波を見据え  
た取り組みなどを説明したほ  
か、和歌山県総務部機器管理  
性を強調した。

局総合防災課の酒井清崇防災  
企画班長が「和歌山県の防災  
・減災対策の総点検」として、  
ソフト・ハード両面の対策を  
紹介。  
この中で、高橋教授は現在  
の津波防災が抱える課題とし  
て、「津波警報システムが規  
模を過小評価しやすい」こと  
を挙げ、GPS波浪計と海洋  
レーダーを併用した津波観測  
の重要性を指摘することも



に本社、営業所などを置  
き、97年度以降にSRC  
造建築物の設計業務の実  
績があること、1級建築  
士を3人以上雇用し、1  
人以上を配置できること  
など。  
規模は市営住宅SRC  
造9階建て延べ8660  
平方メートル。建築、設備、付  
帯工事の設計一式。建設  
地は同市田尻182の5  
ほか。履行期間は150  
日。予定価格は6441  
万8000円。最低制限  
価格は4949万円を基  
準に変動する。

長が表彰する。  
同競技会は、一般工事  
部門で設計・積算に携わ  
る若手技術者のレベルア  
ップを図るために、64年  
からスタート。技術者に  
技術の基礎を再認識させ

部門では、災害対策(B  
CP)の提案力を問う課  
題も盛り込んだ。  
前田幸一取締役副社長  
は「設計積算競技会は、  
設計・積算に対する日ご  
ろの成果を出すためだけ  
でなく、技術を一層向上  
させるのが最大の目的  
だ。手持ち工事が550  
億円程度あり、電気設備  
工事の中でも難易度の高  
い医療・病院電気設備を  
部門では、災害対策(B  
問題の柱とすることで、  
時代の要請にきちんと応  
えていきたいと考えてい  
る。また、技術の基礎を  
きちんと固めるために電  
気、環境、情報分野は問  
題を絞った。競技会だけ  
に終わらず、課題を各支  
店支社で教育材料にする  
ことが大切であり、全体  
の技術レベル向上に結び  
つけていきたい」と話し  
ている。  
来賓メッセージでは、  
川村昌光大阪中央労働基  
準監督署安全衛生課長が  
「工事現場に隠れた危険  
の芽を摘んでいくことが  
無事故無災害への第一歩  
だ」と強調、さらなる安  
全活動の推進を呼びかけ



安全活動の推進を呼びかけ